

# レスキュージャッキ

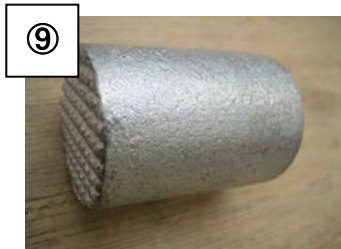
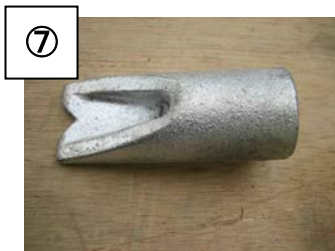
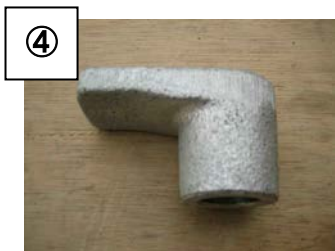
レスキュージャッキは、油圧を利用し様々な組合せにより少しの力で重量物を持ち上げたり、動かしたり、隙間を広げ被災者の救出などを行うことができる道具です。

しかし、誤った使い方をすると使用者が重量物の下敷きになってしまうことや、被災者へさらに負荷をかけてしまう恐れがあります。状況に適した使用方法や組合せ方を正しく覚えましょう。

種類	レスキューセット（株式会社 マサダ製作所）
ハンドポンプ	重さ：6kg 貯油量：220cc
スプレッドラム	重さ：10kg 最大能力：1トン 最大ストローク：273mm
ラムシリンダー	重さ：2kg 最大能力：4トン 最大ストローク：125mm
その他のアダプター	耐荷重：2トン
備蓄数	1セット



# 1 部品名称



番号	名称	番号	名称	番号	名称
①	ハンドポンプ	⑥	Vベース	⑪	102 mmジョイント
②	スプレッドラム	⑦	ウエッジヘッド	⑫	406 mmジョイント
③	ラムシリンダー	⑧	ラバーフェイスフラットベース	⑬	アジャスタブルエクステンション
④	プランジャートウ	⑨	セレテッドヘッド		
⑤	ラムトウ	⑩	コネクター		

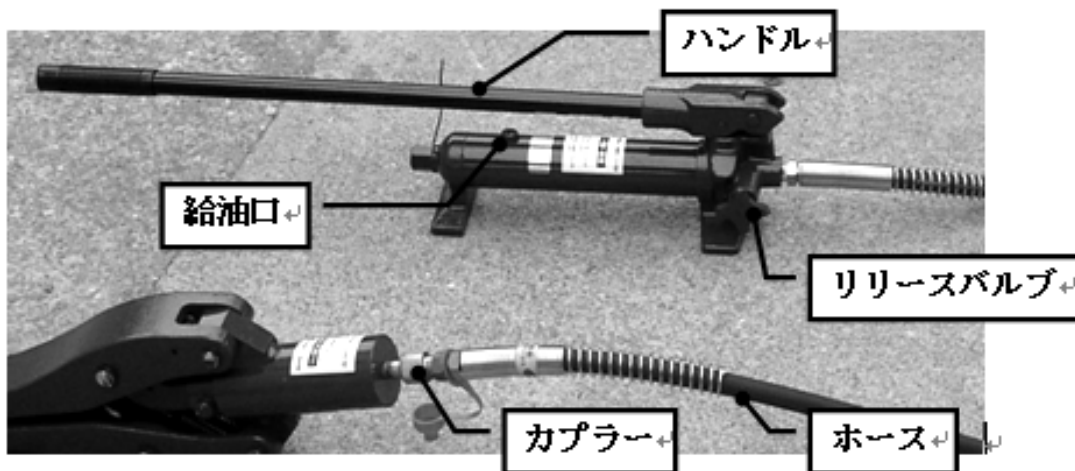
## 2 使用にあたっての注意点

- 1 持ち上げた重量物の下には入らないこと。
- 2 腐食やさびの原因となるため、雨、水などをかけないこと。
- 3 必要以上に持ち上げたり、動かしたり、隙間を広げないこと。

## 3 使用方法

レスキュージャッキは、用途により、「①ハンドポンプ」に「②スプレッドラム」や「③ラムシリンダー」、④～⑬アダプターなどを組合せて使用します。

### 【ハンドポンプの使い方】



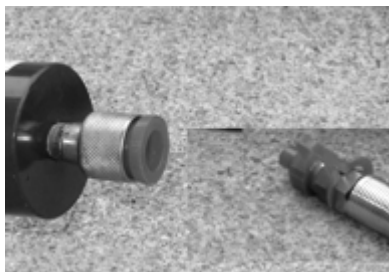
- 手順 1** リリースバルブをゆるめて、ホースとカプラーに圧力がかかっていない状態にする。



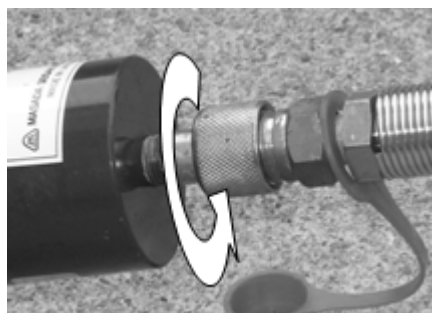
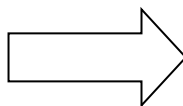
ハンドポンプにラムシリンダーなどを接続しない状態で操作を始めると、本機に圧力がかかり危険なので、特に注意する。

また、ハンドポンプが加圧状態のときにカプラーを操作することは、オイルが飛び出したり、破損の原因となるため注意する。

**手順2** ハンドポンプホースのカプラーと接続部品（「②スプレッドラム」または「③ラムシリンダー」）のカプラーをそれぞれの連結ネジを手で締め、確実に接続する。



カプラーに異物が付着していると、オイル漏れの原因となるため、清潔に保つようにする。



**手順3** 接続部品内のエア抜きをする。

- 1 リリースバルブを時計回りにまわし、バルブを閉じる。
- 2 負荷の掛かっていない状態で、接続部品が最高の位置に上がるまで、ハンドルを使って操作する。
- 3 「①ハンドポンプ」を接続部品よりも高い位置に置く。

**手順4** 接続部品内とホース内の空気を抜く。次のどちらか一方を行う。

- 1 接続部品をさかさまにする。
- 2 接続部品のカプラーを上向きにする。

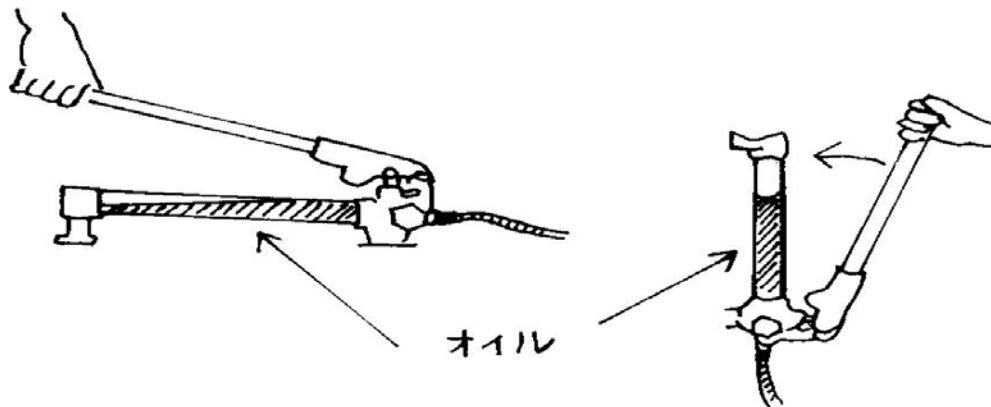
**手順5** リリースバルブをゆるめると空気が抜けて、「①ハンドポンプ」内のオイルと空気が置き換わる。

**手順6** リリースバルブを時計回りに手で締める。

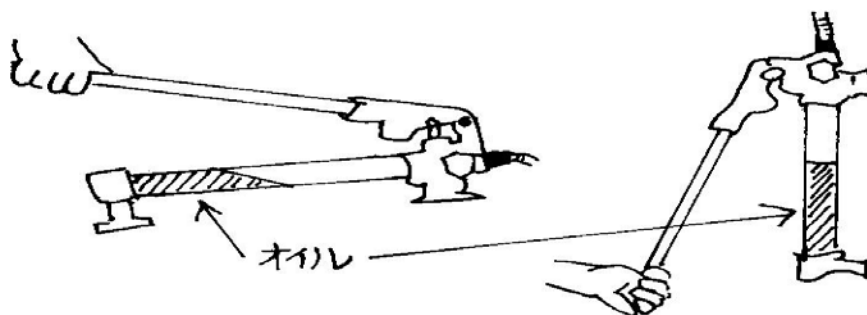
リリースバルブは工具を使って締めると、バルブが破損する恐れがあるので、必ず手で締める。

**手順7** ハンドルを上下方向に作動させる。

(正しい操作状態)



(誤った操作状態)



「①ハンドポンプ」部分にはオイルが入っています。

上図の誤った操作状態では、操作できません。

「①ハンドポンプ」内をオイルが満たしている状態で操作してください。

## 用途と組合せ

### A スプレッドラム



主な用途	すき間を広げる。
最大能力	1トン
ストローク	約 273mm
特 色	装着が簡単。物を持ち上げるなど様々な用途に活用できるが、最大能力は1トンまでとなっている。
注 意 事 項	使用する場合は必ずスプレッドラム本体を手で支えること。

### B ラムシリンダーとアダプター



主な用途	物を持ち上げる。
最大能力	2トン
ストローク	約 125mm
特 色	アダプターを組み合わせることで、様々な状況に対応ができる。
注 意 事 項	使用する場合は必ずラムシリンダー本体を手で支えること。

## 【組合せの一例】

- 1 ③ラムシリンダー+④プランジャートウ+⑤ラムトウ



**手順 1** ラムシリンダーの先端のリングを外し、ラムトウを締め込む。



**手順 2** プランジャートウはラムシリンダーの先端のロッド（突起部分）に差し込む。



荷重は必ずトウの根元で受けるようにし、各トウの先端部分で作業をしない。

2 ③ラムシリンダー+⑥Vベース+⑦ウエッジヘッド



3 ③ラムシリンダー+⑧ラバーフェイズドフラットベース+⑦ウエッジヘッド



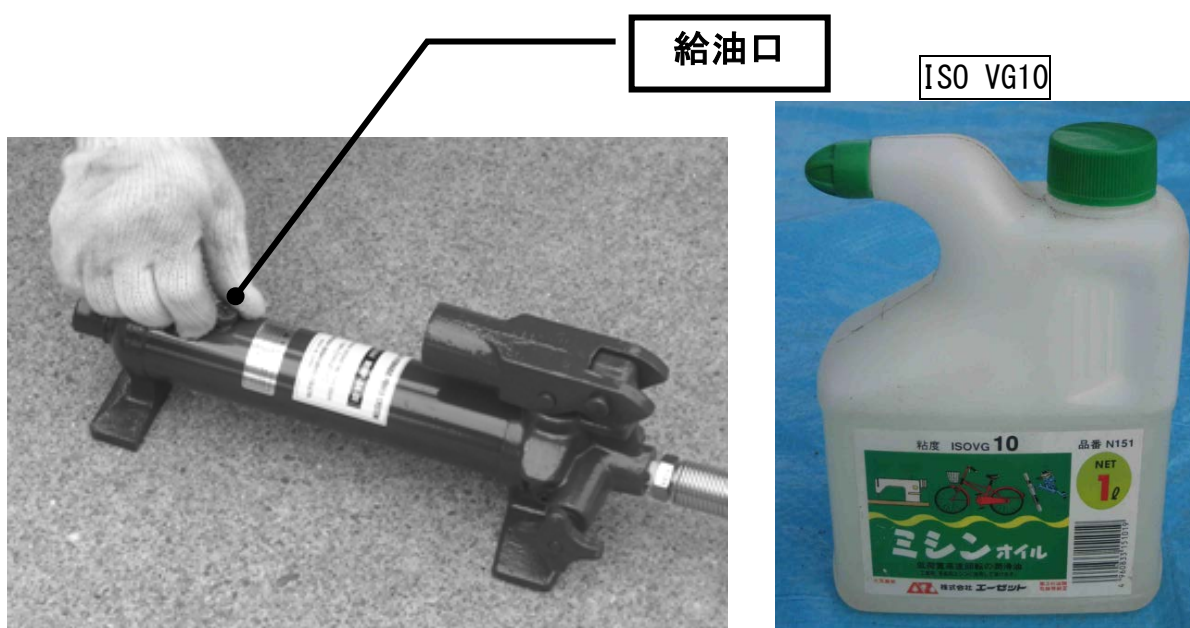
※ 状況に応じて⑪、⑫ジョイントなどにより長さを調整します。



## 4 ハンドポンプへの給油

**手順 1** リリースバルブをゆるめて、「①ハンドポンプ」内に圧力がかかっていない状態にする。

**手順 2** 給油口のねじを外し、「一般油圧作動油（ISO VG10 など）」を給油する。（ハンドポンプを床に対して垂直に立て、穴の位置まで入れる。）



**手順 3** 給油が終了したらねじをしっかりと締める。

**手順 4** 「①ハンドポンプ」を作動させ、ロッドを最高まで伸ばして正常に作動するか確認する。